

## 上坂原子力委員会委員長の海外出張報告

令和3年10月12日

### 1. 出張先

オーストリア共和国（ウィーン）

### 2. 出張期間

令和3年9月19日（日）～23日（木）

### 3. 渡航目的

ウィーンで開催される第65回国際原子力機関（IAEA）総会に政府代表として出席し、IAEAの幹部、各国の原子力関係者との意見交換を行うとともに、内閣府主催のサイドイベントに登壇する。

### 4. 主要日程

9月19日（日）東京発 → ウィーン着

20日（月）～22日（水）

IAEA総会出席及び各国原子力部門要人やIAEA事務局幹部との会談

サイドイベントへの登壇

ウィーン発 → フランクフルト着

フランクフルト発

23日（木）東京着

### 5. IAEA総会

第65回総会は、クウェートのサディク・M・マラフィ氏を議長に選定して開催された。

グロッシー事務局長が、

- ・173か国目となるサモアの新規加盟を歓迎
- ・コロナ禍においても、不拡散の取組、検証活動を継続するというIAEAのコミットメントを強調
- ・ZODIAC（統合的人畜共通感染症行動）イニシアチブ支援を奨励
- ・原子力エネルギーが気候変動の解決策の一部である必要があり、そのためのIAEAの取組の必要性を強調
- ・ALPS処理水の放出計画に関するIAEAによる我が国への支援のため、IAEAが、世界中から国際的に認められた専門家グループを任命したこと、またIAEAが日本に対して、ALPS処理水の放出前、放出中、放出後における支援をしていく旨等の表明を行った。

国連事務局長のメッセージが紹介されたのち、各国の一般討論演説が行われた。

日本は井上信治 内閣府特命担当大臣（科学技術政策）（当時）が、原子力の平和的利用、ALPS処理水、北朝鮮の核問題、イラン核合意等について、ビデオ録画にて演説を行った。

各国の演説原稿はIAEAのホームページに掲載されている。

## 6. IAEA総会期間中のバイ会談

### 【政府代表として実施】

#### （1）IAEA グロッシー事務局長

- ・上坂委員長より、グロッシー事務局長の強いリーダーシップへの敬意とIAEAの取組への支持を表明するとともに、東京電力福島第一原子力発電所の廃炉やALPS処理水の取扱いに関するIAEAからの多大なる協力への感謝、日本政府とIAEAとの間で引き続き協力を進めていく必要性等について発言した。
- ・上坂委員長とグロッシー事務局長との間で、日IAEA関係の強化に向けた具体的方策、東京電力福島第一原子力発電所の廃炉やALPS処理水の取扱いに係る協力について意見交換を行い、引き続き協力を行うことで一致した。

#### （2）フランス ジャック原子力・代替エネルギー長官

- ・上坂委員長より、日仏両国による核不拡散体制の強化及び原子力の平和的利用のための協力が着実に進展することへの期待と、本年1月にオンラインで開催した原子力エネルギーに関する日仏委員会において充実した意見交換ができたことを歓迎する旨の発言を行った。
- ・上坂委員長とジャック長官との間で、両国間の原子力協力、特に高速炉開発に関する協力やカーボンニュートラルに向けた対応について意見交換を行い、当該分野における両国間のパートナーシップを更に拡大していくことで一致した。

#### （3）米国 フルービー国家核安全保障庁長官

- ・上坂委員長より、日米両国は原子力の平和的利用、核不拡散及び核セキュリティの分野におけるパートナーとして世界をリードしていること、日米原子力協定は日米原子力協力の基盤をなすものであり、引き続き緊密に連携していくことが重要である旨の発言を行った。
- ・上坂委員長とフルービー長官との間で、核不拡散及び核セキュリティ分野での日米協力、気候変動対策、クリーンエネルギー技術などについて意見交換を行い、両国の協力関係を一層強化することで一致した。

## 【原子力委員長の職務として実施】

### (1) IAEA技術協力局 リュー事務次長

- ・上坂委員長より、医療用ラジオアイソトープに関するサイドイベントについて紹介するとともに、 $\alpha$ 線放出核種を用いた治療薬により、途上国へより安価に放射線治療を提供する必要性について説明した。
- ・上坂委員長とリュー事務次長の間で、若い世代への原子力に関する教育についての重要性、ラジオアイソトープ医療応用に係る各国の能力構築支援などについて意見交換を行った。

### (2) IAEA保障措置局 桐生実施B部第4課長

- ・上坂委員長と桐生課長の間で、コロナ禍における査察の課題や、IAEAにおける女性職員登用の動き、国際機関で日本人が活躍するための方策について意見交換を行った。

### (3) IAEA原子力安全・セキュリティ局 エヴラール事務次長

- ・上坂委員長より、ALPS処理水の取扱いに係るこれまでの支援に感謝の意を述べ、上坂委員長とエヴラール次長との間で、日IAEA間でALPS処理水の取扱いに関し引き続き協力を行うことを確認した。
- ・上坂委員長とエヴラール事務次長の間で、日IAEA間でのALPS処理水の取扱いに係る協力の対外的な情報発信の在り方等について意見交換を行った。

### (4) IAEA原子力安全・セキュリティ局 ピニャク放射線安全監視課長

- ・上坂委員長より、ALPS処理水の人体への影響に関して、引き続き、IAEAから科学的根拠に基づく情報発信をいただけるよう要請した。ピニャク課長よりIAEAの放射線防護と安全に係る手引きの概観について紹介があった。
- ・上坂委員長とピニャク課長の間で、リスクコミュニケーションの重要性について認識の共有があった。

### (5) IAEA原子力エネルギー局 チュダコフ事務次長

- ・上坂委員長より、これまでのJAPAN-IAEAエネルギーマネジメントスクールにおける取組や令和2年度版原子力白書概要（英語版）について説明を行った。
- ・上坂委員長とチュダコフ事務次長との間で、原子力分野に関する若い世代への教育・啓発の重要性や、原子力に係る政策や産業について真摯に説明することの重要性について確認した。

- (6) IAEA原子力エネルギー局 グゼリ核燃料サイクル・廃棄物技術部長
- ・上坂委員長より、東京電力福島第一原子力発電所の廃炉に係るこれまでの支援に感謝の意を述べた。
  - ・上坂委員長とグゼリ部長との間で、日IAEA間で廃炉プロセスに関し、引き続き協力を行うことを確認した。
- (7) IAEA原子力エネルギー局 ハン原子力発電部長
- ・上坂委員長より、SMR（小型モジュール原子炉）をはじめとする革新炉に関する国際連携について、IAEAがリードしていく必要性について説明し、ハン部長より、しっかり取り組んでいく旨の応答があった。
- (8) IAEA原子力科学・応用局 モクタール事務次長
- ・上坂委員長より、医療用ラジオアイソトープに関するサイドイベントへの協力に対し、感謝の意を述べた。
  - ・上坂委員長とモクタール事務次長との間で、医療用ラジオアイソトープの製造・医療応用の国際連携推進方策について意見交換を行った。
- (9) IAEA原子力科学・応用局 ワハブ保健部長
- ・上坂委員長より、医療用ラジオアイソトープに関するサイドイベントについて紹介した。
  - ・上坂委員長とワハブ部長との間で、ラジオアイソトープの医療応用について意見交換を行った。
- (10) 欧州委員会エネルギー総局 ガリバ次長
- ・上坂委員長とガリバ次長との間で、日本と欧州におけるにおけるエネルギー政策の方向性や、ALPS処理水の取扱いに関する情報発信の方策、原発再稼働の状況などについて意見交換を行った。
  - ・医療用ラジオアイソトープの製造・医療応用の国際連携推進方策について意見交換を行った。
- (11) OECD/NEA（経済協力開発機構/原子力機関） マグウッド事務局長
- ・上坂委員長より、令和2年度版原子力白書概要（英語版）について紹介を行った。
  - ・上坂委員長とマグウッド事務局長との間で、原子力分野の大学・大学院を中心とした人材育成について、日本とOECD/NEAで連携していく方向を確認した。